

19年度決算の財政4指標報告

南九州市は「健全」

9月議会では、南九州市の財政健全度をチェックする平成19年度決算の財政4指標が報告され、いずれも健全と判断される数値であった。

普通会計の収支を示す「実質赤字比率」と普通会計に公営事業会計（国保会計や介護保険会計、水道事業会計など）を加

えた「連結実質赤字比率」

は、黒字だったことから

「数値なし」である。

※標準財政規模に占める

借金返済の割合を示す「実

質公債費比率」は、平成

17年度から平成19年度の

平均12・5%で、財政破

たんの危険基準である早

期健全化基準の25%を下

回っている。

地方債残高や職員の退

職金など将来の借金が財

政規模に占める割合を示

す「将来負担比率」は、

71・2%で、早期健全化

基準の350%を下回っ

ている。

また、公営企業会計（水

道事業、簡易水道事業、

農業集落排水事業及び公

共下水道事業）に係る資

金不足比率は、4会計と

もに資金不足額が無いこ

とから「数値なし」であ

る。

※標準税率で算定した税収入額と地方道路譲与税などの税外収入に地方交付税を加えた額



市議会自主研修会

地域活性化に 創意工夫を

◆県市町村政研修会◆

鹿児島県市町村政研修会が8月8日、鹿児島市民文化ホールで開催され、二人の講師が講演しました。

「団魂世代と地域活性化」の講演では、地域に眠るさまざまな文化・景観・産物を強く意識すること

で、新しい魅力が見いだされる。その発見、

創造により、地域全体のデザインを磨くことで経

済的に自立した地域づくりも可能となる。また、

これらの取り組みに、団魂世代が人生の再チャレ

ンジとして果たす役割が大きいとの内容でありました。

それぞれの地域をあらためて見直し、その魅力に創意工夫を重ねて、地域の活性化につなげたいものです。

その他「地球環境とエネルギー」と題した講演もありました。

市議会自主研修

「地方自治法の一部改正について」

県町村議会議長会の徳留幸治氏を講師に招き、

8月25日、委員会室で議員研修会を開催しました。

地方自治法の一部改正により、全員協議会などを

会議規則で「協議又は調整を行うための場」と

して定めることにより、その活動は正規の議会活動

として位置づけられる。また、議会における議員の発言について、言論

の府と云えども、会議のルールに従った節度ある

発言が求められることなどの説明を受けました。

所管事務調査

各常任委員会は、議会閉会中に次のことを調査します。

総務常任委員会

「防災体制の現状と今後の対応策について」

防災無線や自主防災組織など、防災体制の充実について調査する。

文教厚生常任委員会

「小規模校対策について」

市内の小中学校の現状と山村留学制度について調査する。

産業建設常任委員会

「市営・公営住宅の現状と今後の対応策について」

空き家となった老朽住宅の撤去や一定期間過ぎた住宅の改修など、住宅政策の課題と今後の計画的な取り組みについて調査する。